

## 平成22年度 第1回 千葉県安全性向上プロジェクト委員会 議事要旨

■開催日：平成22年11月5日（金） 14：00～15：30

■場 所：千葉市内 千葉市国際交流プラザ 会議室

■出席者：千葉工業大学 工学部 教授 赤羽 弘和 <委員長>  
(社)千葉県トラック協会 交付金事業部長 鶴巻 成男  
(社)千葉県バス協会 専務理事 花崎 幸一  
(財)千葉県交通安全協会連合会 事業管理課長 羽部 秀明  
(社)千葉県安全運転管理協会 講習部長 福永 幸一 (代理)  
(株)千葉日報社 取締役 川名 親  
千葉県警察本部 交通部理事官 齋藤 清一 (代理)  
千葉県警察本部 交通規制課 課長補佐 小島 敏之 (代理)  
千葉県 県土整備部 道路環境課 課長 富澤 茂司  
千葉県 環境生活部 生活・交通安全課 課長 堀田 弘文  
千葉市 建設局 土木部長 中臺 公明  
国土交通省関東地方整備局首都国道事務所 副所長 藤田 明 (代理)  
国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 所長 遠藤 和重

### ■議事

#### 1) 委員会経緯

○これまでの委員会開催経緯ならびに今年度委員会の開催目的を確認。

#### 2) これまでの取り組み

○対策箇所フォローアップが重要であり、今回のような取り組み結果を他の箇所に活かすべきである。対策効果の低い箇所について、要因を分析し次回報告願いたい。

→次回委員会で報告予定。

○用地買収が難航して対策が進まない箇所があり対策が進まないのであれば、別の対策可能箇所を選定し、数多く対策を実施することが、事故の全体数削減に効果的である。

#### 3) 交通安全対策事業の新たな取り組み

○「未然に事故を防ぐ」方策として、事前の危険に認知などのアンケート結果を反映できる仕組みが重要且つ、有効である。

○ロングリストの各抽出指標に重みは付くのか。あるいは抽出指標に該当する数で決まるのか。

→該当する抽出指標の数で決定するか否かは次回提示したい。基本は、計画熟度（用地の取

得難易度、地元合意)等の要因も含めて総合的に判断する。

○用地の取得の是非も含めて50箇所を選ぶのか。

→様々な観点に着目し、総合的に判断する。その結果、用地取得の是非も含めて、次回、課題箇所(50箇所)の案を提示したい。同時に、選定理由も提示する。

○課題箇所50箇所のリストは、焦点(抽出指標)の当て方でリストの作り方が変わる。そのため、複数案を提示して頂きたい。

→次回、抽出指標の様々な観点に着目し、複数案を提示する。

○今回は、交通安全上の課題課題箇所の選定であったが、この箇所の対策方法についても委員会にて議論頂きたい。